

至誠館大学

科目名	社会福祉援助技術演習Ⅰ(後半)			コード	1509	
英語表記	Seminar in social work practiceⅠ					
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成28年度	
基準年次	3年次	開講期	前期	単位数	2	
授業形態		授業形式	演習	履修形態	選択	
授業概要						
本演習は、本学におけるソーシャルワーク教育の実践的な学びを目的とした科目である。ソーシャルワーク実践に求められる基本的な援助技術、それに関連する知識を学び、併せてソーシャルワーカーに必要な価値倫理を習得し、ソーシャルワーカーになるための基礎を固める。特に3年次後半に予定されている社会福祉援助技術現場実習Ⅰに向けての準備学習と体験蓄積のトレーニングの場として位置づける。						
到達目標						
以下の点について学習し、その援助技術の習得を目標とする。いずれにしてもワークなどをとおしての体験的学習を重視する。3年次後半の現場実習に向けた準備と実習先選択が可能になるようにしていく。1.ソーシャルワークの基本視点 2.ソーシャルワーク実践の原則 3.ソーシャルワークの価値倫理と倫理綱領 4.ソーシャルワークの援助技術の基礎(特に、面接技法とコミュニケーション技術)						
授業計画						
第1回	事例の理解と問題Ⅰ ～社会的排除、アウトリーチ、社会資源開発等について①～					
第2回	事例の理解と問題Ⅰ ～社会的排除、アウトリーチ、社会資源開発等について②～					
第3回	事例の理解と問題Ⅱ ～児童虐待、ネットワーキングと社会資源開活用等について①～					
第4回	事例の理解と問題Ⅱ ～児童虐待、ネットワーキングと社会資源開活用等について②～					
第5回	事例の理解と問題Ⅲ ～高齢者虐待、ネットワーキングと社会資源開活用等について①～					
第6回	事例の理解と問題Ⅲ ～高齢者虐待、ネットワーキングと社会資源開活用等について②～					
第7回	事例の理解と問題Ⅳ ～家庭内暴力(D.V.)、チームアプローチと社会資源調整等について①～					
第8回	事例の理解と問題Ⅳ ～家庭内暴力(D.V.)、チームアプローチと社会資源調整等について②～					
第9回	事例の理解と問題Ⅴ ～低所得者、アウトリーチと社会資源調整等について①～					
第10回	事例の理解と問題Ⅴ ～低所得者、アウトリーチと社会資源調整等について②～					
第11回	事例の理解と問題Ⅵ ～ホームレス、社会資源活用等について①～					
第12回	事例の理解と問題Ⅵ ～ホームレス、社会資源活用等について②～					
第13回	事例の理解と問題Ⅶ ～アウトリーチと社会資源活用等について①～					
第14回	事例の理解と問題Ⅶ ～アウトリーチと社会資源活用等について②～					
第15回	まとめ ～社会福祉援助技術演習Ⅰのまとめと社会福祉援助技術演習Ⅱについての説明～					
評価方法と基準		評価項目と割合(%)				
欠席については認めない。出席、発表、レポートならびに試験により総合的に評価を行う。試験については、実践的な理解度を重要視する。演習科目であるため積極的な授業参画を重要視した評価とする。		出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
		0	40	10	50	0
授業外学習		テキスト、教材				
進捗状況によっては、近隣の福祉施設等にボランティアとして参加する。		「社会福祉士 相談援助演習」中央法規出版				
参考書		受講生へのメッセージ				
授業の中で適宜紹介する。		本演習は、社会福祉士受験資格及び保育士資格の取得希望者が履修する科目である。また、社会福祉援助技術現場実習を履修する者は必ず履修すること。欠席は認めないため、やむを得ない欠席については補講で補うこととする。				
キーワード						
ソーシャルアクション、アウトリーチ、ネットワーキング、チームアプローチ						